

令和6年度第1回 財政健全化専門部会 質疑応答要旨のポイント

分野	質問者	回答者
・財政指標について	<p>【委員】</p> <p>市債について、市民一人当たりで、国・県・市で大体いくらぐらいになるのか。</p>	<p>【市】</p> <p>本市分については、臨時財政対策債を含む市債現在高約1,355億円を、市の人口約25.4万人で割ると、市民一人あたり約53万円となる。</p> <p>また、国は国民一人あたり1,046万円、県は県民一人あたり108万円である。</p>
	<p>【委員】意見</p> <p>市民一人あたりの借入額は参考資料として載せて欲しい。</p> <p>国全体でこれだけの借金を抱えているという認識は必要であり、自分のところだけ良ければいいという時代ではなく、全体で考えていかないといけない。</p> <p>また、市民に分かるように提示してもらい、少しでもご理解してもらおう場面を作っていくことが、市民における財政健全につながっていくと思う。</p>	
	<p>【委員】</p> <p>経常収支比率について、定年引上げによる退職手当の減は、定年引上げが2年に1回ずつ引上がるとすれば、今後はジグザグのような形で推移していくと予想すればよいか。</p>	<p>【市】</p> <p>定年引上げによる退職者数の増減をならず意味で、退職手当基金を積立し、繰入れにより歳入の手当をしていくことになる。</p> <p>人件費の上昇により経常収支比率の分子に影響してくるが、分母となる市税収入の伸びなどもあるため、現時点では経常収支比率がどのように推移していくかは不透明である。</p>
	<p>【委員】</p> <p>物件費・補助費の一般財源の縮減について、令和5年度は目標額を達成できていないが、補助費に関しては集落排水特別会計への支出科目が繰出金から補助費への科目変更による影響が入っているのか。</p>	<p>【市】</p> <p>物価高騰の影響などが大きく影響し物件費が上がっており、集落排水特別会計への支出科目変更による増加だけの影響ではないと考えている。</p>
	<p>【委員】</p> <p>令和5年度歳入で市債は161億円で、資料3頁では、新規借入額が145億円となっているが、この差は臨時財政対策債か。</p>	<p>【市】</p> <p>臨時財政対策債の約16億円の差である。</p>
	<p>【委員】</p> <p>令和5年度歳出の公債費と歳入の市債と、財政指標で市債残高が50億円伸びている関係性をご説明いただきたい。</p>	<p>【市】</p> <p>令和5年度決算における公債費及び市債には、臨時財政対策債の償還及び借入が含まれているが、財政指標の市債残高では臨時財政対策債は除いている。</p> <p>5年度は新学校給食センター整備で約40億円を借入れるなど大型公共事業の進捗により借入額が増えており、市債残高が増えている。</p>

・取組成果 について	<p>【委員】</p> <p>財産収入の確保について、大和紡績跡地の民間活用制度の成立事案なしは、希望者がゼロだったのか。</p> <p>また、今後の見通しはあるのか。</p>	<p>【市】</p> <p>平成30年度、31年度及び令和2年度の3回、民間提案を募集したが、提案は1件もなかった。周辺の環境や都市計画の用途地域なども影響しているのではないかと考えられる。</p> <p>現在はもう撤退しているが、鉄道運輸機構が新幹線建設に係る事務所として活用していた。</p> <p>また、今後の見通しについては、大和紡績跡地はフェニックス通り拡幅に際しての移転の代替地を目的に取得しており、今後、移転交渉が進んでいくことにあわせて、処分が進んでいくものと認識している。</p>
	<p>【委員】</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類感染症になり、今後は予防接種に係る費用は増えていくのか、減っていくのか。</p>	<p>【市】</p> <p>令和5年度までは全額、国負担であったが、今年度からは定期接種となり、原則、市町村負担となる。今年度は特別に国の基金から一部、補助が出ているが、来年度も続くかどうかは未定である。</p> <p>一方で、国においてワクチンの改良を加えており、インフルエンザとコロナ(2価ワクチン)と一緒に接種していくとも聞いており、ワクチン単価が下がることはあり得るため、現時点では予防接種に係る費用は未定の部分が多い。</p>
	<p>【委員】</p> <p>施設の活用方針について、市長がいう「楽しい」「安心」「元気」とは、どのようにつなげていくのか。</p>	<p>【市】</p> <p>市長は、「ふくいは楽しい!」「ふくいは安心!」「ふくいは元気!」ということで新幹線開業後の新しい福井を作っていこうと進めている。</p> <p>財政再建計画の中では、施設の統廃合や民間譲渡を進めてきたが、基本的な考え方としては、引続き今ある既存施設を有効活用して、新しい楽しい安心な元気なまちづくりを進めていく。</p> <p>また、イベントで楽しいまちにする、子育てで安心なまちをつくる、企業を誘致して元気なまちをつくっていくなどの個別具体的なことは6月補正や9月補正で取組みを打ち出しているところであり、進捗は常に市民の方にPR、お見せしていかなければならないと考えている。</p>

・取組成果 について	<p>【委員】意見</p> <p>施設の統合・整理は、市民から見ると盛り下がっていくことなので、市長が掲げることが少しでも前に進める形でしていかないと誤解を招くおそれがある。</p> <p>また、少年自然の家のリニューアルなど、元気の源となる、福井の未来を背負う子どもや青年のために向けて、他自治体のいい事例も参考に、国補助金等を活用しながら、県と一緒にしても結構ですので、新しく政策の中に入れていただけるとありがたい。</p>	
	<p>【副部長】意見</p> <p>補助金の見直しについて、縮小されたまま人口減少などが進むと団体の弱体化になってしまうが、地域の活動としては重要であるため、本当に活動に支障がないのか、今一度精査していただくとともに続けて現状を把握して欲しい。</p>	<p>【市】</p> <p>団体補助の見直しについては、コロナの影響で活動縮小を余儀なくされている、また、物価高騰の長期化による影響を受けているといった場合には、団体の実情をお聞きした上で、しっかりと対応していきたいと考えている。</p>
・今後の開催方針について	<p>【委員】</p> <p>これまでの指標を維持するのか。何か新規の指標を設定するのか。</p> <p>これまで、縮減縮減、節約節約といったイメージだが、これからはこういうことができました、運営できますといったサービスが向上するような項目を入れてはどうか。</p>	<p>【市】</p> <p>令和8年度までを期間とする福井市財政計画については、財政再建計画を踏襲し、第八次福井市総合計画の実施計画の財政計画として作成しており、指標なども8年度までの見込み値を記載していることから、財政計画に掲げている指標などを使っていきたいと考えている。</p>
	<p>【委員】</p> <p>財政調整基金については39億円を積立てするなど、目標が達成できた指標は現状を守っていくということで、少し重要性が減るのではないかと思われるが、いかがか。</p>	<p>【市】</p> <p>財政調整基金について、財政計画では令和8年度の推計値として残高50億円以上を目指すとしている。また、経常収支比率は90.6%、実質公債費比率は9.6%、市債残高は1,032億円、将来負担比率は86.9%、プライマリーバランスは黒字というように、それぞれの指標を令和8年度に置き換えた形で設定している。</p>
	<p>【部会長】</p> <p>次回からは、部会の名称を、財政健全化専門部会から持続可能な財政運営専門部会に変更するが、これまでの指標の目標値を置き換えた上で、検証を進めていきたい。</p>	